

田原中だより

学力特集号

北九州市立田原中学校
学校だより

校長 岩本 健司

平成28年度 全国学力学習状況調査の結果報告と今後の取り組みについて

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

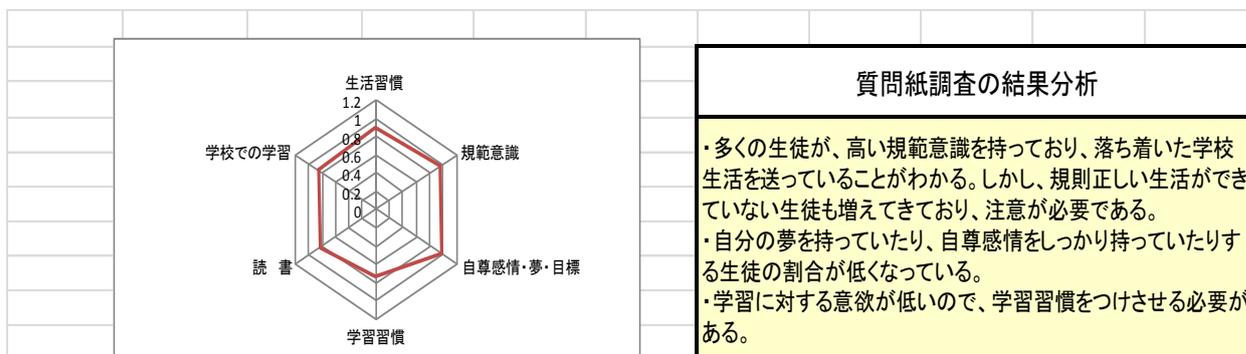
なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要



カテゴリー	学力調査の分析 (傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語 A	話す力・聞く力が不足している。文章を読むこと聞くことに慣れ、漢字の読み書きを含めた基礎学力の向上を図る必要がある。日々の漢字練習、読書の継続などに力を入れる必要がある。	下回っている
国語 B	文章の構成を捉えたり、文章を要約したりする問題に課題があった。日頃から、自分の考えを、言葉や文章で表現していく力を育成していく必要がある。	下回っている
数学 A	基礎的な計算や作図については、ある程度身につけているが、思考力を必要とする問題に課題があった。問題を深く掘り下げる力をつけていく必要がある。	下回っている
数学 B	基本的な学習内容を、応用に生かしていく力が不足している。問題をよく読み、情報や資料をもとに、的確に処理したり説明したりする力を育てていく必要がある。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要



3. 調査結果から明らかになった課題解決のための具体的な取組



① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- すべての授業において、めあてカード・まとめカードを引き続き使用していく。
- 漢字、基礎計算、英単語など基礎学力の向上を目指して、各コンクールを実施していく。
- 定期考査の前に学習時間を取り、テストに対して努力していく習慣を身につけさせる。
- 全学年で、アクティブラーニングを取り入れた授業づくりを行っていく。そのために教科内での授業の交互参観を行う。
- 1年生では、「これだけはテスト」を定期的に行い、基礎学力の定着を図る。
- 教科ごとに工夫して取り組み(理科ノートコンテスト、英文暗唱テスト、天声人語の書き写し)等を行う。
- 書くことを習慣化させるため、行事が終わるごとに感想文を書かせるようにする。
- 教員の指導力向上に努めるために、授業研究や指導主事要請を積極的に行い、授業改善に努める。
- 過去の問題や、校長会作成の課題プリントを授業の中や宿題として課す。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 漢字の知識習得を目的とした週末課題を実施し、週明けに授業の中で課題テストを実施する。
- 家庭学習チャレンジハンドブックを活用し、家庭学習の目標を決め、計画を立てさせ家庭学習の習慣化に努める。
- 冬休みと春休みにアシストシートや過去問を宿題として課す。
- 学校便りやホームページで全国学力学習状況調査について保護者に周知し、家庭と連携して協力体制を整える。
- 小中連携の取り組みで、新入生に春休みの課題を中学校から与え、入学後確認テストを行い、中学校の学習につなげていく。